



# CREW WATCH

2021年3月号

**BSAFE** 船員の安全向上

優れた「セーフティリーダー」になるには

最新 **BSAFE**ポスター

船内保安 船員の安全確保

今なお続く密航者問題



BRITANNIA P&I  
TRUSTED SINCE 1855





今回のCrew Watchでは、BSAFEの新たな取り組みについてご紹介します。BSAFEは、クラブ加入船によるオペレーションの安全性を全方位的に促進・改善することを目的とする、現場に主眼を置いたキャンペーンです。

また、優れたセーフティーリーダーになるために必要な姿勢や、海賊や密航者に備えて船員の皆さまが注意すべきことなど、さまざまな状況から安全について考えてみたいと思います。最後に、「予防は治療に常に勝る」ことを踏まえて、船内掲示用に現在配布中のポスターもご紹介します。船内への侵入を試みる密航者への警戒を促す内容となっています。

CLAIRE MYATT  
編集者

「Crew Watch」をお楽しみください。編集部では、広く関心を集めるテーマを取り上げ、有益で役立つ情報をお届けできるよう常に努めています。皆さまのアイデアやコメントをお寄せください。 [britanniacommunications@tindallriley.com](mailto:britanniacommunications@tindallriley.com)

(翻訳)ブリタニヤP&Iクラブ日本支店  
こちらは英語版の日本語訳です。日本語訳と英語版の間に齟齬がある場合は英語版の内容を優先下さるようお願い申し上げます。

# BSAFE

## 船員の安全向上

**安全は何よりも大切です。** ブリタニヤでは、船内での船員の怪我や事故の防止に役立つ対策を常に模索しており、昨年は、ロスプリベンションチームと人的リスクチームが合同で新たな安全キャンペーンを立ち上げました。その名もBSAFEです。



BSafeは、各種船内業務に関する有益な資料をお届けする、現場に主眼を置いたオンラインキャンペーンです。船員の皆さまが多くの要求やプレッシャーにさらされていることに鑑み、ブリタニヤのウェブサイトや各種SNSから簡単に利用・入手できる形にしました。業務を最適に進めるための事例集やガイドなど、最近発生したクレームを題材にした資料は、どれも分かりやすく実践しやすい内容になっています。

安全な状態というのは、もちろん身の安全のことだけではありません。体が健康であること、安心感を得ていることも必要で、これは総合的ウェルビーイング(肉体的・精神的・社会的にすべてが満たされた状態)や効率を考えるうえで非常に重要になります。そのことを念頭に置き、BSafeでは大きく3つのテーマを掲げています。

- 船内の安全
- 船員の健康
- 船内の保安

### 事例集

事例集を使って過去に起きた事故を分析し、そこから教訓を導き出すことは、安全向上に欠かせない作業です。船員の皆さまには、BSafeを通して安全・保安・健康に関するさまざまな問題について考え、それをご自身が置かれている状況にどう活かせるかを検討していただきたいと思います。これを実践していただくため、ブリタニヤではBSafe事例集を定期的に作成しています。いずれも、実際にあった事故やクレームを基にしたものです。各自で使用したり、船主の研修プログラムに取り入れたりできるさまざまな資料も毎回一緒に紹介しています。

これまでに、高温のスラッジを浴びて重度のやけどを負ったことによる死亡事故や、はしごからの落下による死亡事故、感電死事故、夜間の単独当直時の座礁事故などを取り上げてきました。

### 新たな取り組み

船員のサポート方法を常に模索しているブリタニヤでは、先日、慈善団体Sailor's Societyによる「海上での健康維持啓発キャンペーン」に参加しました。このキャンペーンは新型コロナウイルスの感染拡大を受けて立ち上げられたもので、メンタルヘルスやウェルビーイングの問題を啓発することで船員のやる気を引き出し、この困難な時期を乗り越えるための支援をしようというものです。このキャンペーンの知名度向上に貢献できたことを光栄に思います。今後はポッドキャストや動画、ポスターでの発信を行い、船員のメンタルヘルスや総合的ウェルビーイング向上の取り組みを後押ししていきたいと思っています。

このBSafeにより、船員の安全やウェルビーイングの向上に寄与できるものと思います。皆さまのサポートもぜひお願いいたします。本キャンペーンを充実させるための方法や今後取り上げてほしいテーマなど、ご意見・ご提案がありましたらlossprevention@tindallriley.comまでお寄せください。

BSafeのウェブサイト: [www.britanniapandi.com/bsafe](http://www.britanniapandi.com/bsafe)



本稿では、セーフティーリーダーシップを現場目線で考察し、優れたセーフティーリーダーになるために必要な姿勢と、リーダーシップを身につける方法を考えたいと思います。



**Slav Ostrowicki**

Loss Prevention Manager, London  
sostrowicki@tindallriley.com



# 優れた セーフティーリーダー になるには？

## 危険や怪我と無縁の体制を築く方法

### 解説

### 具体的な取り組み方

#### 安全重視

安全を大事にする人間であることを全面に打ち出してください。

- 組織の定めた基準に従って生活し、「有言実行」する。
- 安全対策に従っていると周囲に示すことで、対策を維持する。

#### 心配性

これは危険やリスクに対する警戒を常に怠らない状態のことで、油断とは対極の状態です。この心配性が健全なレベルで維持されていれば、優れた安全文化が根付いていると言えるでしょう。

- 「慎重に考え」、最悪のケースを想定する。
- ヒヤリハットや、安全不備に繋がりそうな兆候に絶えず目を配り、適宜対応する。

#### 誠実・公平

正直で、頼りがいがあり、信頼される人間でありましょう。「正しいこと」を責任を持ってやり遂げる姿勢を打ち出してください。誰に対しても公平に接し、サポートしましょう。

- チーム内に信頼を生むよう行動する。
- 自分の発言に基づいた行動を取る。
- 自分のミスを潔く認める。
- 約束したことは最後までやり抜く。

#### 感情知能

優れたリーダーは、他者の情動を認識、理解、左右することができ、また、自らの情動を制御することができます。人を鼓舞する力、共感力、社交力を用いることで他者の先頭に立ち、注意を引きつけます。

- 多様な視点に誠実に向き合うため、討論ではなく対話を心がける。

#### 自信

リーダーになるには、自分の能力やスキルに自信を持つことが前提となります。有能なセーフティーリーダーは、安全に関する決断を下す自信や、その決断に責任を持って取り組める自信、さらには、想定されるリスクを冒してでも自分なら無事に結果を出せるという自信を持っています。

- 継続中のトレーニングや自主学習の中から、安全に対する理解を深めることができるようなものを探す。
- 自己管理に努める。

BSAFEキャンペーンの一環として、以下のページでセーフティーリーダーシップの原則について解説しています。

<https://britanniapandi.com/2020/11/good-safety-leadership-an-overview/>



## 解説

## 具体的な取り組み方

### 謙虚なリーダーシップ

他者が活躍できる場所を作りましょう。そうすることで、チームの各人に積極性が芽生え、自発的に取り組むようになるでしょう。複雑な事態になれば、一人ですべてに対応することは不可能です。

- この仕事をきっと成し遂げてくれるという期待感を相手に示す。ただし、「こうするのが一番良い」など対処法を強要しないこと。
- 自分の失敗を教訓として伝える。

### 柔軟なリーダーシップ

リーダーシップのスタイルを状況に合わせて変えましょう。ひとつのスタイルがすべてに通用するとは限らないからです。有能なリーダーになるには、自分をよく知り、必要に応じてスタイルを変えることも必要です。

- その時々で民主主義と命令主義を使い分ける。
- 緊急事態の際には毅然と指示を出すことが必要。
- ルーティン性の高い業務については、口出しをせずに任せの方がチームの反応が良くなることもある。

### 効果的なコミュニケーション

発言と傾聴を促す: お互いに意見を言いやすい環境を作りましょう。  
受け手のことを知る: 相手が理解できるように話しましょう。  
前向きな言葉を使う: ポジティブでやる気にあふれた雰囲気生まれます。  
適宜フィードバックを行う: こちらの期待に近い行動を取ってくれるようになります。

- 良くない話でも話すように促す。
- 本心を引き出すため、イエス、ノーで答える質問ではなく、相手の自由な意見を求める質問をする。
- 話に積極的に耳を傾け、自分が聞きたいことだけでなく、相手が伝えようとしていることも十分に理解する。

### 可視化と参加

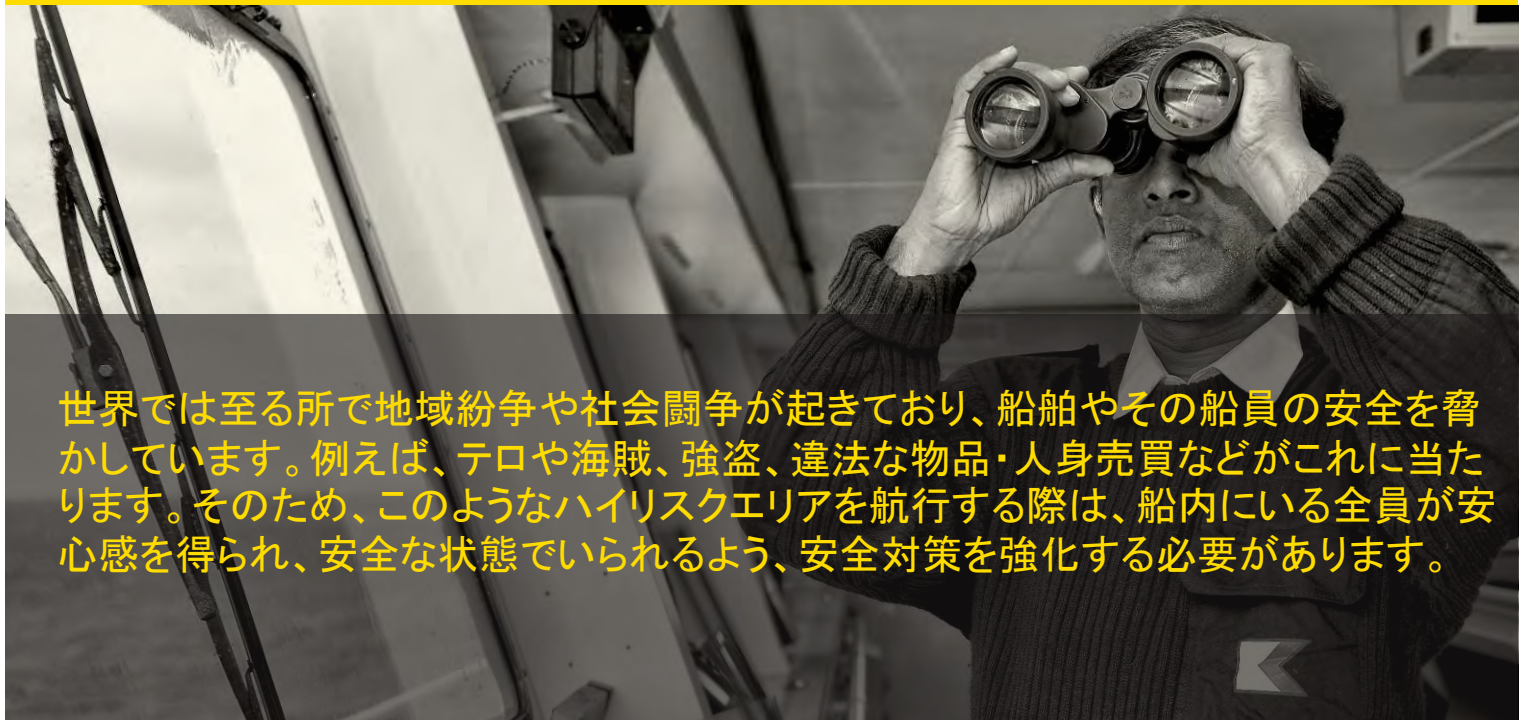
チームと顔を合わす機会を増やし、これぞリーダーとしての責任ある行動というものを見てもらいましょう。リーダーの存在が重要であることを示すこととなります。コミュニケーションも取れるようになりますでしょう。

- 「現場」に定期的に顔を出すことで壁をなくす。
- 安全確認の見回りを行う。シフト開始前のミーティングやツールボックストーク(安全に関する内輪のグループディスカッション)に参加する。
- 現場でチームメンバーと顔を合わせ、必要に応じて、安全予防に関する話し合いを行う。

セーフティリーダーとして優れた指導力を確立するために現場でどのようなことを実践すればよいか、その例を一部ご紹介しました。この他の実践例など詳しい内容を知りたい方はお気軽にお問い合わせください。 [lossprevention@tindallriley.com](mailto:lossprevention@tindallriley.com).



# 船内保安 ガイダンス – 船員の安全確保



世界では至る所で地域紛争や社会闘争が起きており、船舶やその船員の安全を脅かしています。例えば、テロや海賊、強盗、違法な物品・人身売買などがこれに当たります。そのため、このようなハイリスクエリアを航行する際は、船内にいる全員が安心感を得られ、安全な状態でいられるよう、安全対策を強化する必要があります。

最近、ギニア湾で多発している海賊による襲撃事件は、保安計画の必要性を改めて浮き彫りにしました。ただ、覚えておいていただきたいのは、これは船舶保安要員だけが背負う問題でなく、すべての船員が背負うべき問題だということです。一人一人が保安計画に注意を払い、いざ危険が迫った場合にこの計画を実行できるよう訓練を積み、方策を練っておかなければなりません。

船内保安は、ブリタニヤの新しいキャンペーン「BSafe」でも重要なテーマとなっています。目標は、船員をサポートすること、そして、航行地域にかかわらず安心して乗船していただくことです。ブリタニヤでは、メンバー、船員の皆さまに安全対策に関する最適なアドバイスをお届けできるよう、業界のベストプラクティスや情報源など、さまざまな要素に目を光らせています。

ガイダンスの全文はウェブサイトでご覧いただけます。  
[britanniapandi.com/2020/11/on-board-security-guidance](http://britanniapandi.com/2020/11/on-board-security-guidance)



Jacob Damgaard,  
Loss Prevention Manager, Singapore  
[jdamgaard@tindallriley.com](mailto:jdamgaard@tindallriley.com)

1

## 保安ガイダンスの概要

まずは脅威を見極め、どの程度のセキュリティが必要なのかを決定します。

2

次に、実施可能な各種安全対策の内容を把握します。例えば、「三層防御」作戦では以下の行動を取ります。

- 乗船の防止
- 船室の施錠
- 安全な避難場所の設置

保安計画を実行に移せるよう、しっかりと訓練を行っておくことが大切です。

また、このガイダンスでは民間の警備会社の起用についても取り上げており、契約前に検討しておくべき問題（武装の有無など）を紹介しています。

保安計画についてご質問のある方、詳しいアドバイスをお求めの方は、ブリタニヤのロスプリベンションチームまでご連絡ください。

[lossprevention@tindallriley.com](mailto:lossprevention@tindallriley.com)



# 今なお続く 密航者問題

# BSAFE



**Jacob Damgaard**, Loss Prevention Manager, Singapore  
jdamgaard@tindallriley.com



**Ilka Beck**, Associate Director, People Risks, London  
ibeck@tindallriley.com

## 密航者問題の備忘録

船員にとっても、陸上で管理を行っている船主にとっても、密航者問題は依然悩みの種です。しかも、新型コロナウイルスの感染拡大という問題も加わり、密航者への対応はいっそう難しさを増しています。密航者の防止に関するガイダンスはブリタニヤのウェブサイト [britanniapandi.com/topic/stowaways](http://britanniapandi.com/topic/stowaways) でご覧いただけますが、ここでは、身分を偽って乗船しようとする者を阻止するために注意すべきことなど、いくつかの重要なポイントを分かりやすくまとめてみました。このなりすましによる乗船は、最新のBSAFEポスターの題材にもなっています(次頁参照)。

密航を試みようとする者は自暴自棄になっていることも多く、見つければ危害を加えてくるおそれもあります。また、密航者を監視下に置くことになると次のような問題が新たに生じてきます。

■ 出港後に密航者を船内で発見した場合は、逃亡のおそれのない部屋に監禁する必要があります。できれば見張りを置いてください。毎日最低1時間は部屋の外に出られるようにする必要があります。その際には見張りを配備しなければなりません。

■ 人道的な対応をする必要があります。食事を用意し、部屋まで届けるようにしてください。

■ 密航者がいる場合、港での出入国手続きが複雑になるため、船員は上陸できなくなるおそれがあります。

■ 密航者の送還は難航する可能性もあり、その場合は数週間、数カ月単位で船内に留まることもありえます。過去においては、密航者は、ラダー・トランクの周辺に潜んだり、係船索をよじ登るなどして、見張りが行き届かないような場所から船内に侵入してきました。ところが最近では、ステベドアを装ってギャングウェイから乗船を試みるケースも複数報告されています。出港前のチェック中や、ひどいときには出港後によく発見されるなど、この方法の巧妙さを思い知らされたケースもあります。

この密航者問題に対応する際に一番大切なのは、とにかくまず乗船させないことです。そのためには、訪船者全員の身分証を抜かりなく効率的に確認できる体制を築く必要があります。

最低でも次のような対策を取るべきでしょう。

■ 全員の身分証と乗船の目的を確認する。

■ 身分証が本物でないとと思われる場合は、必ず現地代理店や港湾局に確認を取ってから乗船許可を出す。不正な身分証と思われる場合の対応方法をはっきりと決めておく。

■ ステベドアが袋をいくつも運び込んでいたり、一人だけ違うユニホームを着ていたりしないかなど、不審な行動に目を光らせておく。

■ 船員を除く乗船したすべての作業員の人数を正確に数えておき、全員が下船したことを必ず確認してから出港する。

このようなチェックをすべて行っても密航者が後から出てきた場合は、会社と関係当局のほか、ブリタニヤにもすぐに連絡し、速やかに今後の対応について指示を仰いでください。







**ONBOARD SECURITY**

**STEVEDORE OR STOWAWAY?**

**NO VALID ID. NO ACCESS.**

**KNOW WHO IS**

**COMING ON BOARD!**

**BSAFE**

GUIDANCE ON STOWAWAY PREVENTION  
[britanniapandi.com/topic/stowaways](http://britanniapandi.com/topic/stowaways)

BRITANNIA P&I

密航者問題にお困りのメンバー・船員の皆さまに役立てていただけるように、BSAFEキャンペーンでこの問題を取り上げました。このBSAFEポスターは今回のCREW WATCHと一緒にお配りしています。訪船者全員の身分証を確認することの大切さを強く訴えるデザインになっています。密航者問題や船舶保安の詳細については、BSAFEの船内保安の項目([britanniapandi.com/topic/stowaways](http://britanniapandi.com/topic/stowaways))をご覧ください。か、ロスプリベンションチーム ([lossprevention@tindallriley.com](mailto:lossprevention@tindallriley.com)) までご連絡ください。

**TR**(**B**)

[britanniapandi.com](http://britanniapandi.com)  
[britanniacommunications@tindallriley.com](mailto:britanniacommunications@tindallriley.com)